

銭形通信

Vol.7
秋号



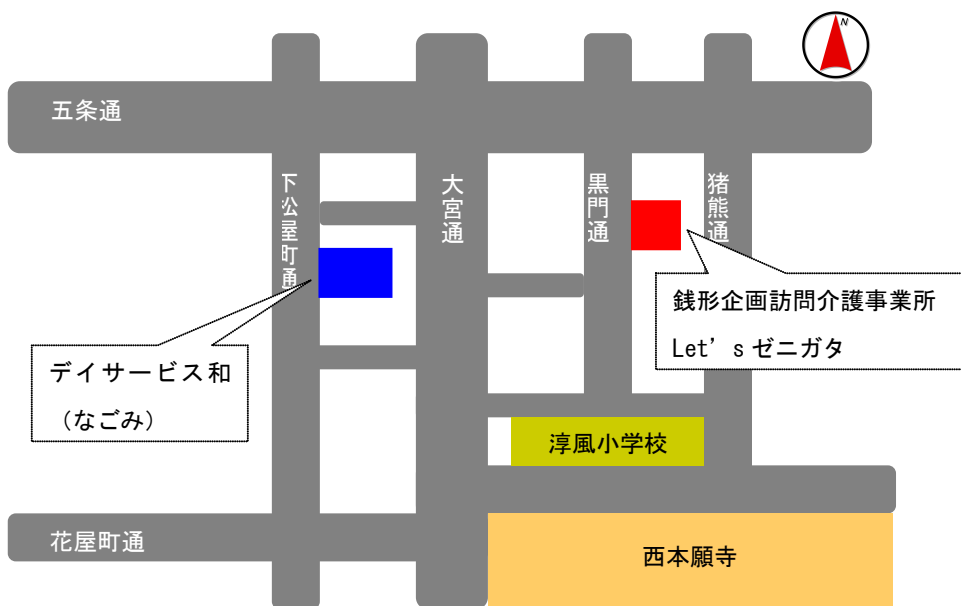
Activity Report

銭形企画訪問介護事業所・Let'sゼニガタは 新事務所に引っ越しました。



9月11日より銭形企画訪問介護事業所とLet'sゼニガタは事務所を移転しました。以前の建物では、これまでどおりデイサービス和（なごみ）が営業を行っておりますので、銭形企画としては、今後はこの2つの事業所で事業を行っていくことになりました。新事務所はデイサービス和（なごみ）から東に徒歩5分程度のところにあり、引っ越したとはいえ、これまでどおり地域の皆さんとの交流を続けてゆけることが何よりも嬉しいことです。2階建ての建物で、1階は銭形企画訪問介護事業所とLet'sゼニガタの共同事務所。2階には畳敷きの大広間があり、今後は何か新しいことにこのスペースを有効活用できればと考えています。

新事務所です仕事をしていると、以前は午後になればいつも聞こえてきたレクリエーションの歓声やカラオケの歌声がしないので少し寂しい思いもあったり、「今ごろ向こうもランチタイムかな?」、「今日は〇〇さんがデイサービスに来られているなあ。」などとふいに気になったりもします。開業からはや1ヵ月半、銭形企画はこの新天地で今後もますますヘルパー事業に力を注いでゆきたいと考えております。お近くに来られる際はぜひお気軽にお立ち寄りください。



■銭形企画訪問介護事業所/Let'sゼニガタ 事務所

〒600-8357 京都市下京区柿本町 594-13 TEL075-353-4880 FAX075-353-4891

■デイサービス和（なごみ）【介護保険通所介護/障害者自立支援生活介護】

〒600-8365 京都市下京区丹波街道町 298 TEL075-353-4899 FAX075-353-4899

なごみは秋のイベントが目白押し



東映太秦映画村



9月17日に太秦映画村へお出掛けしました。身近にある観光スポットとはいえ、普段意外と行く機会がなく久しぶりといわれる方がほとんど。長年、足を運ばなかった映画村は昔の雰囲気を残しつつも、どこか新鮮な雰囲気を感じました。お天気にも恵まれ、秋晴れの陽気でした。一日のんびりと過ごせてとても楽しかったです。また機会があれば行きましょう！！



秋の大運動会

なごみの10月の恒例行事といえば大運動会です。皆さんの利用日がそれぞれに違うので、一週間を通して行いました。(全日利用の皆さんには大変お疲れ様でした。)

さて、運動会のほうはと言いますと、どの曜日も個性的で大変な盛り上がりを見せました。普段は仲の良いメンバーもこの時ばかりは別と見えて、相手に負けじと声を張り上げ、からだを動かし、大奮闘！！連日、赤チーム、白チームとも一步も譲らず、なかなか見応えのある勝負となりました。



秋の味覚 ぶどう狩り

天気が少し悪かったのが残念でしたが、土のにおいをかぎながら、みんなで食べた挽ぎたてのぶどうはやっぱり格別でした。また来年も行きたいですね。

秋といえば食欲の秋。やっぱり味覚狩りといえばぶどう！！ご存知の方もいらっしゃると思いますが、実は京都にもあるんですよ、ぶどう園。山科の勧修寺に。



日時 : 11月25日(水) 1:45 ~ 3:00

ところ : デイサービス和(なごみ)

メニュー : 栗蒸し羊羹

コーヒーや紅茶などとセットで¥100です。

皆さんお誘い合わせのうえ是非お立ち寄り下さい。



銭形企画訪問介護事業所 つれづれ日記

この頃、新聞などで、介護職の賃金についての記事をよく見かけます。仕事内容に比べて低賃金である事が、介護現場の人手不足の原因の一つであると言われます。何の仕事であっても労働に見合った賃金であって欲しいですし、多ければ多いほどありがたいものです。

世の中に数々の仕事があり、ヘルパーの仕事もその中の一つです。どんなきっかけでヘルパーとして働くようになったかは、それぞれ違うと思います。けれども、ヘルパーとして働いて日々感じる事は、共通するものがあるようです。働く事はしんどくもあり、でもまた楽しさや喜びもあり、それが「働きがい」というものではないでしょうか。そんな大げさな事でなくても、仕事をしていて、働いている実感が嬉しい時があります。

そのようなヘルパーとしての共通した思いは、昨年の銭形通信秋号で掲載したヘルパー川柳にも感じられたと思います。銭形のヘルパー（若いも若きも）から寄せられた多くの川柳には、そんな喜びがありました。

でも、日々働いている場面では、思うように出来ない事もたくさんあります。ヘルパーにも得意分野、不得意分野があり、掃除・調理・身体介護等において微妙に活躍の度合いが違います。なので、ヘルパーにとって毎日が勉強であるといえます。新しくサービスに入る場合、先行して入っている後輩から教えてもらう事もあります。

また、複数事業所で入っているケースでは、先行事業所のヘルパーさんに指導してもらうこともあり、そこで顔馴染みになったヘルパーさんと道で出会うと笑顔で声を掛け合います。何となく心楽しい瞬間です。見知らぬ人に対しても、「ポロシャツの あの人きっとヘルパーだね」と、同業者のにおいを感じる時もあります。

今この時間も、たくさんのヘルパーが働いていることでしょう。以前にも、銭形企画の社歌の一節を紹介させて頂いた事がありますが、またまた紹介致します。3番の最後のフレーズです。

「…町を走れば仲間と出会う 今日も笑顔で
今日も笑顔で がんばろう♪」

(執筆：松井益江)



Information



新型インフルエンザにご注意ください。

ワクチンの優先接種が開始されました。

日ごろの感染予防がまずは肝心

全国的に新型インフルエンザの感染が広がっており、私たちの地域でも学級閉鎖や行事の延期などが相次いでいます。とりわけ、ご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は重症化の危険性が高く、徹底した感染予防が必要です。皆さんも日ごろから小まめなうがい、手洗い、マスクの着用などを心がけ、しっかりとした感染予防対策を行ってください。

新型インフルエンザ・ワクチン接種開始と今後の見通し

10月中旬より新型インフルエンザ・ワクチンの接種が始まりました。このワクチン接種は感染予防を目的とするものではなく、重症化や死亡を防ぐ目的があります。つまり、従来の季節性インフルエンザ・ワクチンとは違い感染予防の効果はあまり期待できないということです。10月19日には、まずはインフルエンザ患者の治療に当たる医師・看護師などの医療従事者への接種が始まりました。

今後の見通しは、下の表のスケジュールで順次優先接種が行われる予定です。（但し、接種回数に関する国の方針やワクチン出荷状況により変更になる可能性があります。）

《ワクチンの優先接種を受ける対象者と接種実施のスケジュール》

妊婦、基礎疾患※をお持ちの方	11月中旬から
幼児（1歳から小学校就学前）	12月後半から
小学校低学年	12月後半から
1歳未満児の保護者等	平成22年1月以降
小学校高学年、中学生、高校生相当	平成22年1月以降
高齢者（65歳以上）	平成22年1月以降

※優先接種対象者・・・妊婦、幼児、高齢者、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、慢性腎疾患、慢性肝疾患、神経疾患・神経筋疾患、血液疾患、糖尿病、疾患や治療に伴う免疫抑制状態、小児科領域の慢性疾患をお持ちの方で医師が治療経過などから重症化の危険性が高いと判断する方を指します。

ワクチン接種にかかる費用は自己負担

ワクチン接種には実費費用がかかります。費用は以下のとおりです。ただし、所得の少ない世帯の負担軽減策として市町村による費用補助などの措置が設けられる予定です。

《ワクチン接種にかかる費用》

1回目	3,600円
2回目	2,550円

ワクチン接種が受けられる場所

京都市内の1,268ヶ所の医療機関でワクチンの接種が可能ですが、完全予約制で、優先接種対象者であることを証明できるもの（母子手帳、主治医の意見書など）を持参する必要があります。優先接種の対象である方は接種の可否について、まずはかかりつけ医に相談してください。

新型インフルエンザに関する電話相談窓口

京都府では、10月から新型インフルエンザに関する電話相談を受け付ける『京都府新型インフルエンザ・インフォメーションセンター』を開設しています。

京都府新型インフルエンザ インフォメーションセンター

受付時間：平日 午前8時30分～午後8時

TEL：075-444-5400 FAX：075-414-5922

『銭形通信 Vol.7 秋号』

発行元：(有) 銭形企画 〒600-8365 京都市下京区丹波口通大宮西入丹波街道町 298 番地

TEL075-353-4880 (代) FAX075-353-4891 E-mail：mail@zenigata-kikaku.jp

編集：上原 啓輔（うえはら けいすけ） 高田 暁仁（たかだ あきひと）

「銭形通信」は（有）銭形企画の情報の公表の一環としてご利用者様ならびに関係機関の皆さまにお渡ししております。